

泥酔させた日は、
命を危険にさらした日だ。



#泥酔キケン #アルハラキケン

SNSには「#泥酔」で大量の投稿がある。酔いつぶれた友だちの写真などが、面白おかしくアップされている。そこには飲酒の強要があったのかも、見て見ぬふりをする人がいたのかも、飲まざるを得ない空気だったのかも。それらはすべてアルハラだ。そもそも泥酔とは、急性アルコール中毒の状態。脳のマヒだ。命を落とすことがある。つまり泥酔させたら、友だちを死なせてしまうかもしれない。泥酔はキケン。この機会に知ってほしい。



なぜ泥酔は危険なのか。何が起きるか知ろう！



泥酔は脳のマヒ。 急性アルコール中毒の状態。

SNSでは#泥酔で盛り上がる姿が多く投稿されています。でも泥酔は、とても危険な状態。急性アルコール中毒の状態であり、脳はマヒしています。放置していると、死に至るかもしれません。酔いつぶれて寝ていると思っても、吐いたものが喉に詰まり、窒息死することもあるのです。



友だちと泥酔。 でもそれってアルハラかも。

アルコールハラスメント=アルハラは、飲酒にまつわる人権侵害です。無理やりお酒を飲ませていなくても、盛り上げるために「飲まざるを得ない空気」を作っているとしたら、それもアルハラです。泥酔目的で、ノリで飲ませるのも、同調圧力によるアルハラにあたるかもしれないのです。



帰り道も危険。 転んだり、事故にあったり。

酔いの危険は飲んでいる時だけではありません。帰り道、階段から落ちたり、駅のホームから転落したり、死につながる事故が多いのです。酔いのピークは、飲み始めから30分~1時間後にやってきます。泥酔させていないと思っても、帰り道に危険な目にあわせているのです。



酔った後の溺死。 これも泥酔の危険のひとつ。

溺死、というと海や川で溺れることを想像するかもしれませんが。だけど、飲酒後お風呂で溺れて亡くなってしまうことも多いのです。酔ってお風呂に入っていて、眠って沈んでしまう。泥酔させて、結果溺死させてしまう。その危険に気づいてください。



泥酔の危険性をサイトでくわしく解説。
イッキ飲ませやアルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。

